

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【城北小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> ・基礎・基本の定着や獲得した知識・技能を活用すること。 <指導上の課題> ・児童が反復・習熟に取り組む時間で、児童が自らの学びを振り返る時間を確保すること。	⇒ ・基礎的・基本的な学習の反復・習熟を朝の学力アップタイムや各授業時間、家庭学習を通して行う。【毎時間】 ・デジタル教材等も活用することで児童の学習履歴を確認して個別の支援が行えるようにする。【月1回程度】 ・振り返りの時間を取り、学んだこと・分かったことなどを振り返ることで、次の学びに生かせるようにする。【毎時間】
思考・判断・表現	<学習上の課題> ・自分の考えを根拠をもって表現すること。 ・現力を支える豊かな語彙力の獲得や粘り強く学習に向き合うこと。 <指導上の課題> ・資料の見方に対する指導や根拠をもとに自分の考えを表現する活動時間を確保すること。	⇒ ・ICTを活用し、児童の思考や考えを可視化することで、自身の表現力を高める。【毎時間】 ・考えを伝え合う活動では、聞き手が質問等することで、児童同士のやり取りを活性化し学びが深まるようにする。【各単元で1回以上】 ・児童自身が授業の中で学び方を選んで決める場面を設定し、自ら学びに向かう力を高められるようにする。【毎時間】

全国学力・学習状況調査
<小6・中3>(4月～5月)

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現	結果提供(2月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語では、「言葉の特徴や使い方にに関する事項」と「情報の取り扱いに関する事項」の問題の平均正答率が全国・県平均を下回っていた。漢字を文の中で正しく使うことができるかを問う問題では、同じ読み方をする別の漢字を解答する児童が多く、意味や使い方も理解できるように繰り返し指導していく。 算数では、全国・県平均を下回っているが、その差が昨年度より縮まっており、学力アップタイムなどにおける基礎・基本の積み重ねが児童の学力向上につながっていると考えられる。一方で、台形の意味や性質を問う問題や数直線上での分数の捉え方を問う問題で平均正答率が5割を大きく下回っていた。授業で基礎的・概念的な内容を扱う際に、図・数・言葉を一貫させるよう指導していく。
思考・判断・表現	国語では、特に「読むこと」の学習内容を問う問題の平均正答率が全国・県平均より大きく下回っていた。特に、順序を考えながら内容の大体を捉えているかを問う問題や事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えているかを問う問題、目的に応じて文章を図表などを結びつけるなどとして、必要な情報を見付けられるかを問う問題に課題が見られた。正確な読み取りができるよう指導を繰り返し行っていく。 算数では、無回答率が全国・県平均より低かったが、理由や求め方、幾つか分を書く問題で課題が見られた。振り返りで数学的な表現を使った文章を書く力を高め、また日常的に辞書を活用して語彙力向上を目指した取組も強化していく。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	C	・週1回の学力アップタイムでは、デジタル教材を中心に基礎・基本の向上を図る取組を行っている。学校課題研究専門部では、デジタル教材を使って手軽に100マス計算などに取り組めるように推進している。 ・学習履歴の確認や振り返りの実施は今後全学年、全校級で着実に実施できるように努めていく。	・引き続き取り組むため、見直しは行わない。
思考・判断・表現	C	・「学びの指標」調査の結果から、授業において児童が主体的に学習する際にICTを活用している活動が少ないことが分かった。ICT支援員や推進している他校の教員を講師に迎えた研修を重ね授業活用の機運を高めた。 ・児童が決めたたり進んだりする活動や、児童同士が考えを交流できる活動を取り入れた授業は学年の実態や学習内容に応じて引き続き繰り返し取り組んでいく。	・引き続き取り組むため、見直しは行わない。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)